

## 特許出願公告抜萃

### 特許出願公告抜萃

**鐵板鍍鉛法** (12年特許公告第 1601 號 公告 12-4-26 内外金屬工業株式會社) 第一鍍鉛工程後適度の豫備冷却を施すことに依り原發明の方法に於て第一工程に依る鍍着鉛が熔融狀態の儘鹽化アムモニウム溶液に觸れて急冷固化する爲めに生ずる鍍鉛面の糜爛を防止して一層優良なる鉛鍍鐵板を得んとする目的を以て鐵板を先づ表面に鹽化アムモニウムの熔融層を漑へて 400°C~450°C の溫度に保てる熔融鉛中に通じて豫備鉛鍍をなし之に鍍着鉛が固化するに足る溫度以下に至る迄氣體冷却を施し更に鹽化アムモニウムの溶液中を通過せしめ引續き 325°C~335°C の溫度を保ちて表面に前化熔融媒劑層を漑へたる熔融鉛中に通じて仕上鉛鍍をなす四段工程を特徴とする鐵板鍍鉛法。

**自働折疊装置を備へた薄鋼板壓延装置** (12 年特許公告第 1622 號 公告 12-4-23 西宮市 天野成男) 壓延板の長さに応じ折曲用ガイドの長さを調節せしめ且連續して壓延板を壓延ロールに供給せしめんとする目的を以て 壓延ロールの前方に於て上方に壓延板の送入床板を下方に搬出床板を備へ送りロールの後方に固定ガイドと移動ガイドとを並置し移動ガイドの後方は彎曲せしめ且適宜の機構により前後に移動せしめ得る様成したる自働折疊装置を備へたる薄鋼板壓延装置。

**鋼板壓延装置** (12年特許公告第 1623號 公告12-4-28 西宮市 天野成男) 唯一人にて鋼板を連續して壓延することを得せしむる目的を以て 壓延ロールの前方に送りロールを設け尙其の前方に壓延板の進行方向と反對に廻轉する鎖帶を設け又壓延ロールの後方に壓延板支持器を設けたる鋼板壓延装置。

**Al 或は其の合金面に文字模様其他を作成する方法** (12年特許公告第 1627 號 公告 12-4-28 獨逸國 シーメンス ウントハルスケ アクチエンゲゼルシャフト) 機械的に化學的に強固にして而も美麗なる文字模様等を Al 或は其の合金面上に畫く目的を以て Al 或は其の合金上に酸化物被膜を形成せしめ其の上に所望の形狀を残して印刷し印刷せられざる部分を印刷物質の熔媒に不可溶性なる色素にて染め最後に印刷物質を除去することを特徴とする Al 或は其の合金面上に文字模様其他を作成する方法。

**電動機啣子の合鑄用鑄型** (12 年特許公告第 1689 號 公告 12-5-3 獨逸國 エアノスト マーレ) 種々の合金を併せ用ひて個々の場所に於ける種々の負荷に適應する電動機啣子を得る目的を以て第一の合金を鑄込みたる後に鑄型の内面の一部を推移に依りて變形するを得しめたることを特徴とする數種の輕金屬合金より成る電動機啣子の合鑄用鑄型。

**低炭素鋼の製造方法** (12 年特許公告第 1699 號 公告 12-5-3 神戸市 株式會社川崎造船所) 硬度極めて低く伸延性頗る大にして鋼線其他に加工容易なる低炭素鋼を經濟的に得んとする目的を以て鹽基性平爐を使用し磷其他の不純物を含む酸化性鍍滓を除去し中性又は還元性鋼滓となさしめたる後爐内に Al を添加して脱酸せしめて純度高き鋼度を製造することを特徴とする低炭素鋼の製造法。

**Al 又は其合金の防蝕被膜生成法** (12 年特許公告第 1700 號 公告 12 年 5-3 川崎市 太田千代司) 斯種金屬及合金に簡單容易に極めて優秀なる防蝕性を附與し併て好適なる塗裝下地を得んとする目的を以て Ca, Mg, Al, Mn, Zn 又は Fe 其他正規磷酸鹽が不溶性

又は難溶性なる金屬の酸性磷酸溶液中にアルカリ金屬又はアルカリ土金屬のハロゲン化物を添加して該溶液中に於て Al 又は其合金を煮沸する事に依り該金屬の表面に防蝕被膜を化成せしむる事を特徴とする Al 又は其合金の防蝕被膜生成方法。

**被覆熔接棒** (12 年特許公告第 1715 號 公告 12 年 5-3 海軍大臣) 軟鋼の熔接に際し熔着鐵の表面を熔滓が完全に被覆し熔着鐵が冷却に際し酸化及窒化するを防止し熔着鐵の延性の減少を防止し得る被覆熔接棒を得る目的を以て砂鐵  $Fe_3O_4$  35~45% Fe-Mn (Mn 量 70% のもの) 10~20% 及珪砂 15~25% 殘部石灰 硼砂 マグネシヤ及アルミナの適當量より成る粉末混合物を適當量の水硝子其他適當なる膠着劑を以て軟鋼芯線上に塗布乾燥することを特徴とする被覆熔接棒。

**放熱器中子砂落裝置** (12 年特許公告第 1754 號 公告 12 年 5-10 川口市 梅津徳之助 外一名) 鑄造せる放熱器の中子砂を多數一時に砂落しをなし而かも作業容易且迅速なるを得る目的を以て左右兩側の中心部に設けたる横軸に依り軸承上に架したる構棒の前側下端なる杵杆及後側下端なる杵杆に多數の心杆を相對向して樹立し之に放熱器の圓孔を貫通せしめて積重ね得べくし前記前 後兩側の心杆の頭部を緊持し且構棒の左右側上部に締着及取外し得べくししたる前後締杆を備へて成る放熱器中子砂落し裝置。

**短時間交流銲接方式** (12 年特許公告第 1820 號 公告 12-5-12 川崎市 富士電機製造株式會社) 簡單なる銲接を以て銲接電流の發生及消滅が敏速に行はれ而かも一銲接操作に對する時間が交流の半サイクルを單位として微細調整せらるゝ斯る方式を得る目的を以て 銲接變壓器に直列銲接せられたる補助變壓器の二次側に主陽極と勵弧陽極と之等陽極に對する制御格子と陰極とを具ふる一個の整流器を接続し該整流機の勵弧陽極と陰極とに分路に作動ネオン燈を又勵弧陽極の制御格子に時遅れ裝置及休止ネオン燈を接続し作動ネオン燈が點燈してより銲接時間に相應する時遅れを以て休止ネオン燈を點燈せしむる如く勵弧陽極と其の制御格子との電位を制御することを特徴とする短時間交流銲接方式。

**鐵又は其合金の耐酸被膜形成方法** (12 年特許公告第 1832 號 公告 12-5-14 横濱市 松永陽之助) 常溫に於て鹽酸其他の酸に耐え得る耐酸機械器具材料を得る目的を以て Mo 又はフェロ Mo の粉末と鹽化 Zn 又は其他適當のハロゲン化物とアルミナ又は MgO 等の安定なる酸化物の一種又は二種以上の混合物とを適當に混じて處理すべき鐵又は其の合金と共に密閉容器中に入れ適當の溫度に加熱して鐵又は其の合金の表面上に Mo を多量に含有する被膜を形成せしむる事を特徴とする鐵又は其の合金の耐酸被膜形成方法。

**電球の電流導入線を挿込頭に結着せしむる方法** (12 年特許公告第 1854 號 公告 12-5-14 東京市 朝比奈正美) 従來鐵着法に於て起る缺點例へば高溫に依る金具の變色熔劑に依る腐蝕並に電弧熔接法に依り起る種々の缺點を除去せんとする目的を以て電球の電流導入線と挿込頭との接續點を金屬噴射法に依り金屬及合金例へば錫 亜鉛 鉛 半田等を噴射せしめ兩者を結着せしむる方法。

**瓦斯發生燃燒器** (12 年特許公告第 1856 號 公告 12-5-17 東京市 小林秀孝) 最小限度の補溫用瓦斯を使用して必要且充分なる中間補溫を達成し燃燒器の能率を向上せんとする目的を以て瓦斯發生燃燒器の發生器よりの發生瓦斯を充分大容量の中間貯槽を通して燃燒部に供給せしめ此中間貯槽に該槽の加熱用の補助瓦斯燃燒器

を附設し該補助瓦斯燃焼器の加熱度の強弱が槽内に於ける瓦斯の液化に依りて溜出せるべき油量の増減に依りて制御せらるべくせることを特徴とする瓦斯發生燃焼器。

**耐火煨燒石灰煉瓦を製造する方法** (12年特許公告第1872號公告12-5-17 佛國 ソシエテ デ オーフールノー ドウラシエール) 煉瓦として必要なる性質特に水化腐蝕及温度に對する高抵抗性を有する煉瓦を工業的に廉價に製出する目的を以て金屬酸化物或は金屬鹽化物に富める物質を混合せる煨燒石灰を觸知し難き程度の微細粉末となし斯くて得たる粉末混合物を液體或は結合物質を加ふることなく高壓の下にて例へば  $500\sim 2,500\text{ kg/cm}^2$  の壓力の下にて型造し次に此型造片に陶器的煨成處理を施すことを特徴とする耐火煨燒石灰煉瓦を製造する方法。

**特殊砥石製造法** (12年特許公告第1873號公告12-5-17 愛知縣 竹内健治) 使用に際し水を要せず摩擦することなく迅速に双物を滑らかならしめ表面滑かにして使用に當り表面に不純物を生ぜしめざる特殊砥石を得んとする目的を以て石膏 含鐵粘土 (所謂土粘土) 黒鉛 長石 鋸屑 食鹽 矽 糠 過酸化滿脛を混合し能く磨り交ぜ之を握り固めて小塊となして能く乾燥し之を二重鞘に容れて陶磁器煨成用本竈  $1,000\sim 1,200^\circ\text{F}$  にて煨成し放冷後之を充分粉碎且磨り交せて水瀝しを施し金型に入れて壓型し之を取り出して乾燥し之を二重鞘に入れて本竈にて約  $1,300\sim 1,400^\circ\text{F}$  に於て長時間煨成し放冷することを特徴とする特殊砥石製造法。

**磷酸及 Al 鹽濃厚溶液抽出法** (12年特許公告第1905號公告12-5-19 東京市 加藤與五郎) 從來の方法にては抽出液を濃縮して始めて得られたる如き濃厚溶液を器具の侵蝕極めて少なき低温度例へば常温附近又は更に低温度に冷却せしめ然も其抽出を頗る容易にして收得せしめんとする目的を以て 磷酸 Al 含有物を原料とし之を硫酸にて處理し得たる生成物より磷酸及 Al 鹽含有溶液を抽出するに當り共存せしむる全水量を上記原料中の全  $\text{Al}_2\text{O}_3$  の 7.5 倍以下に限定し残渣と共存する溶液を硫酸 Al の過飽和溶液となして之を抽出することを特徴とする磷酸及 Al 鹽濃厚溶液抽出法。

**山形層狀黒鉛坩堝製造法** (12年特許公告第1908號公告12-5-19 下關市 石迫秀雄) 簡單なる方法に依り分子組織を下層より上層に至る迄均齊に屈折せしめ以て耐久力絶大なる山形層狀の黒鉛坩堝を得んとする目的を以て 内周面を坩堝形に成形せる中空型内に材料黒鉛の少量宛を投入しつゝ坩堝體の周側部となる個所を俵狀轉子或は凹弧狀をなす彎曲板により壓下して周側部の黒鉛分子を凸弧狀層となしつゝ下層より上層に順次に填重し仍て成形せられたるブロック體の外周側を削正し其の外周面を底部方向に敲打して凸弧狀層の一半に於ける組織分子を直線的斜狀に更正し次に周側及底部に必要厚みを殘存せしめて内部を刳取し其の内周面を上記の如く底部方向に敲打し凸弧狀層の他半に於ける組織分子を直線的斜狀に更正し以て全側周壁の分子組織を山形狀に構成することを特徴とする黒鉛坩堝の製造法。

**線條熔接機械** (12年特許公告第1923號公告12-5-19 川崎市 東京電氣株式會社) 從來より一層迅速なる作業を施行し得せしめんとする目的を以て 所定長に截斷せられたる 3本の線條中外側の 2本を各支持して同一直線狀に配列せしむべく配置せられたる溝を有する構材を具備して成る 2個の支持裝置の該溝内に於ける各線條を電氣回路に接續する裝置前記溝中に支持せられたる線狀に係合し該兩外側の線狀間に搬送せられて同一直線上に配列せられたる第三の線狀に對し前進し其各端面を衝合せしめて熔接する裝置と

互に熔着せられたる 3本の線條より成る合成線を支持し卸下位置に於て之れを解放する裝置とより成る複數個の線條を對端關係に熔接せしむる機械。

**金型に於ける鑄物の鑄造方法** (12年特許公告第1930號公告12-5-21 大阪府 吉村惣市) 簡單なる方法に依り從來金型の缺陷を除去し極めて密質にして表面平滑なる鑄物を製造し得せしめんとする目的を以て 上部が開口せる型孔に該表面に被覆する如く適宜の當板を挿入した儘湯を注入し型内の湯面が上昇するに従ひ漸次前記當板を抜き出さしむべくしたる金型に於ける鑄物の鑄造方法。

**ボールベアリング ケース鑄造用鑄型** (12年特許公告第1932號公告12-5-21 名古屋市 阪部文一) 外筐内面の仕上加工を要せず而も上下外筐の接合面の密着完全なる此種ケースを容易に獲得せしめんとする目的を以て 外筐外面用上下砂型間に包藏するための心型をボールベアリングを收容するに適應せしむべき丸身金屬型となし該砂型の兩袖間に介在せしむる爲の型を内邊を鋭角とせる薄き砂型となしたるボールベアリング ケース鑄造用鑄型。

**石炭又は炭素含有物の水素添加に使用する觸媒擔持體製造方法** (12年特許公告第1943號公告12-5-21 東京市 小玉美雄外一名) 石炭其他の炭素含有物に水素を添加しガソリン其他の低沸點燃料を得るに當り使用せらるゝ特殊の觸媒に好適なる擔持體を造り觸媒の機能を充分發揮せしめんとする目的を以て 鐵及(又は Si) を含有するアラダムを高温度にて鹽素處理して Fe, Si 其他の不純物を除去したる多孔質  $\text{Al}_2\text{O}_3$  を造り之を擔持體として所要の觸媒を含浸せしむる事に依る 石炭又は炭素含有物の水素添加に使用する觸媒擔持體製造方法。

**鐵板厚さ測定方式** (12年特許公告第1956號公告12年5-21 逓信大臣) 鐵板に何等機械的損傷を與えずして片側より簡易且精密に其厚さを測定せんとする目的を以て 勵磁捲線を有する繼鐵と鐵板とを以て單一閉鎖磁氣回路を作成し前記勵磁捲線に定方向電流を通じて該鐵板を適當に磁化せしめ前記繼鐵の外側を通ずる漏洩を磁束を測定することに依り該鐵板の厚さを間接に測定する方法。

**眞空電氣爐に於ける裝入物の連續供給裝置** (12年特許公告第1959號公告12-5-21 東京市 財團法人理化學研究所) 眞空電氣爐又は眞空電氣抵抗爐等に於て眞空發生裝置を作用せる儘換言せば爐内を所要の眞空狀態に保持せる儘被處理物を連續的に裝入し以て爐の能率を高め得べき簡易なる裝置を得んとする目的を以て 爐内を眞空發生裝置に連結せる電氣抵抗爐に於て爐内に被處理物を裝入するに當り 爐の上部に氣密開閉裝置を通じて密閉室を連設して該室をば中間に開閉裝置を附設せる壁を以て被處理物の收容室と其の裝入豫備室とに支切り豫備室即ち下方室を前記眞空發生裝置の管系に連結すると共に該連結部分には前記眞空發生裝置と爐内又は眞空發生裝置と前記密閉室とを各別に連通又は遮斷すべき切換瓣を設け先づ密閉室のみを眞空發生裝置に連結せしめて眞空とし切換瓣を廻動して舊の如く眞空發生裝置と爐内とを連通し次に下方室即ち豫備室底部の開閉裝置を開き次て上下室間の開閉裝置を開き收容室内の被處理物を豫備室を通過せしめて爐内に供給しつゝ爐の操業を續行すべくせる眞空電氣爐に於ける裝入物の連續供給裝置。

**無反應室式分別分解蒸溜法** (12年特許公告第2013號公告12-5-26 東京市 水田政吉 外一名) 沸點範圍狹小なる分解原料を得て分解反應を好適なる條件の下に行はしめて品質良好なる分解揮

發油を多量に得んとする目的を以て 分解管並に反應管より成る分解系數組を設け張込原料を豫め分解系の廢熱を利用して加熱し分溜室に於て蒸溜を行はしめて數種の溜出油と不蒸發物とに分別し又分解系の精溜室にて反應生成物を精溜せしめて數種の溜出油と不蒸發物とに分別し前記分溜室並に精溜室の任意の溜出油若くは之を加熱して得たる不蒸發油を分解系を以て各別に高壓高熱の下に分解したる後分解反應生成物を分溜室に得らるゝ比較的低溫の殘渣物と共に低減せる壓力の下に精溜室にて蒸發精溜せしむることを特徴とする無反應室式分別分解蒸溜法。

**鉛を含有する V 鑛よりフェロ V の製法** (12 年特許公告第 2014 號 公告 12-5-26 東京市 正木康作 外一名) 鉛を含有する V 鑛より容易且經濟的にフェロ V を得んとする目的を以て V 鑛を粉碎し炭酸曹達とコークスとを混し加熱し鉛と鑛滓とに分離する工程と鑛滓を水にて抽出し該溶液に炭酸瓦斯を通じ炭酸曹達を結晶分離せしむる工程と該ソヂウムウヰアナデートに炭酸アムモニウムを加へメタ V 酸安母となし次に之を煨焼し酸化 V とアムモニヤとを得該アムモニヤを炭酸アムモニウムに化成する工程との順序結合を特徴とし次にテルミット法に依りフェロ V を製造すべくせる鉛を含有する V 鑛よりフェロ V の製法。

**フェロ Mo 製造方法** (12 年特許公告第 2015 號 公告 12-5-26 東京市 三菱鑛業株式會社) 硫化鑛物より直接に簡單なる方法によりて好收量を以て硫黃含有量少く純度高きフェロ Mo を製造する目的を以て輝水鉛鑛に鐵又は酸化鐵炭素質還元劑及石灰と共に石灰量の 25% 以上の螢石を加へ之等を加熱熔融して含硫黃少く純度高きフェロ Mo を製造する方法。

**石炭溶解法の改良** (12 年特許公告第 2047 號 公告 12-5-28 川口市 新村唯治) 特許第 118701 號 石炭溶解法に於て使用する溶劑の製造過程に對し更に簡單なる高壓水素處理を追加するのみにて石炭炭分の溶解量を著しく増加せしむべく之に改良を施さんとする目的を以て タール酸を豫め高壓水素處理を施し次に之を酸化して得たる液體を溶劑として使用し石炭を之に溶解せしむることを特徴とする石炭溶解性の改良。

**高反射表面を有する Al 材料製造方法** (12 年特許公告第 2084 號 公告 12-5-31 米國 アルミニウム コムパニー オブ アメリカ) Al の表面を高反射性のものとなし且長期に亙りて之を不變に保持すべき方法を得んとする目的を以て クロム酸と弗化水素酸を含有する電解液の中に於て Al 材料を陽極として處理する事の特徴とする高反射表面を有する Al 材料の製造方法。

**高壓電纜の接合方法** (12 年特許公告第 2127 號 公告 12-6-2 米國 インターナショナル スタンダード エレクトリック コーポレーション) 高壓電纜に對する改良せる接合方法を供せんとする目的を以て 重合し易き液體材料即ち ステレンと鹽化せる芳香屬炭化水素との混合物を以て電纜接合部を絶縁し其後之を接合部に於

て重合して電纜の含浸紙絶縁體に對し均質の固形絶縁體を形成せしめ鹽化せる芳香屬炭化水素はステレン及原含浸油に對する溶媒となり原絶縁體及接合部絶縁體を充分に密着せしむることより成る含浸紙絶縁高壓電纜の接合方法。

**鑄型製造機** (12 年特許公告第 2142 號 公告 12-6-4 名古屋 市 久保田長太郎) 裝置及工程を要約省略して簡易なる裝置迅速なる操作にて正確なる且緊締せる鑄型を工費低廉に得んとする目的を以て 搖動運動にて鑄砂緊詰後餘分に盛り上りたる鑄砂を搔き均して後挾持棒にて鑄棒固定後支承盤を反顧して鑄棒を轉倒せしめたる後搖動運動に用ひたるプランヂャーに裝設せる昇降胴を上昇せしめて鑄砂を壓縮せしむるに當り支承盤を抑止し且挾持棒が自動的に外方に離外する裝置及昇降胴の上部に設けたる氣筋内に緩嵌せるプランヂャーに固着したる頭板を通す様成したる鑄棒受取裝置を結合し搖動運動に因る鑄砂詰込操作後昇降胴により壓縮工程をなし押壓工程後の昇降胴降下運動を利用して型抜工程を成さしむる事の特徴とする鑄型製造機。

**鑄型棒より鑄物の取外裝置** (12 年特許公告第 2143 號 公告 12-6-4 横濱市 小倉順四郎) 鑄型に注湯冷却形成せしめたる鑄物を鑄型棒より容易に離脱せしむるに好適なる裝置を得んとする目的を以て 圓盤を下端に固着せる摺動棒を挿通せしめたる 中室筒狀主體の兩側に張開せる支持腕の鈎部と鑄型棒の突出杆との間に鋼索を架け渡し前記摺動棒の上端は前記支持腕に樞着せられたる廻動槓桿の一端に穿設せる細長孔を通して關着し且前記廻動槓桿の他端は夫々撥條を以て扛重裝置の鈎金具に連結して成る鑄型棒より鑄物の取外裝置。

**高硬度合金** (12 年特許公告第 2157 號 公告 12-6-4 大阪市 株式會社住友電線製造所) 従來の W 合金に比較して衝擊 磨耗に對する抵抗を著しく増大せしめたる 切削用工具製作に適する合金を得る目的を以て Ti 10~30% Mo 1~5% Co 4~15% C 5~10% 殘部 W より成る場合粉末を半融溫度にて燒結して成る高硬度合金。

特許拔萃

特許番號	名稱	特許權者	公告拔萃掲載本誌番號
119462	煉炭粘結劑製造法	田中直次郎外二名	なし
119505	ピッチコークス製造法の改良	東海電極製造株式會社	なし
119512	炭水化物より燃料油を製造する方法	丹野 恒 治	なし
119610	鐵鋏鉛鍍金法	内外金屬工業株式會社	第22年2號
119999	鋸屑炭化裝置	立石 紫 葉	
120006	磁性合金	金屬材料研究所長	第19年6號
120150	アルミニウム合金	ロールスロイス リミテッド	